

モンゴル視察旅行に参加して

林 義光

今回のツアーでは、普通のツアーではとても体験できそうにない良い体験をさせて頂き、且つとても楽しく過ごすことができ、本当に有意義なツアーとなりました。

これはひとえに団長の廣瀬さん、副団長の真瀬さん、事務局長の保坂さん 始め、参加メンバーの皆様のお蔭であり、楽しく交流させて頂いたこと厚くお礼申し上げます。また、モンゴルセンター／モンゴル国商工会議所日本のウルジさん、小野寺さん、西澤さんには一方ならぬお世話になり、本当にありがとうございました。普通の旅行会社のガイドや添乗員と比較すること自体おかしいですが、全く次元の違う世界で親身にガイドやお世話頂き、言葉にならない程の感謝です。

モンゴル行きはもちろん初めての小生にとって、観光や風景・食べ物・乗馬等の体験をエンジョイしたことはもちろんですが、今までモンゴルについては相撲以外は知識も関心もほとんどなく、まして支援の在り方など考えたこともなかったですが、今回のツアーを通してモンゴルの課題点、格差の問題、日本に対する期待などを認識でき、これを機に何とか少しでもお役に立てればとの認識を持ちました。

また小生の場合は、DFにおいて個人的にご挨拶をしたり会話をしたりするのが初めての方がほとんどだったので、このツアーを通して親しく交流させて頂き、旅で見聞したものの以外にも大きな収穫でした。

さて、モンゴルの支援について具体的な提案等は現時点では未だ出来ませんが、以下に時間軸に沿って印象の強かったところを、思いついたまま記して、感想文としたいと思います。紀行文と言うより日記的にダラダラと書いてしまいましたので、以下は興味ある方のみご一読頂ければ幸いです。

1. 1日目、成田空港

台風到来で飛行機が飛べるのか心配でしたが、うまい具合に早めに台風一過となり時間通り出発。これはさい先良しとツアー成功の予感がしました。

2. 2日目、公式訪問

チンギスハーン広場の見学後、各種公式訪問があり、モンゴルのおかれている国内事情や抱えている問題、日本への期待について良く理解、認識ができました。日本がと言

うよりも我々がモンゴルのために何ができるかを考える必要があること、またその考える機会を与えてくれたものと認識しました。

3. 2日目、ファッションショー

一般にオープンしてない、モデル養成所での極く間近かでの見学、今までファッションショー等ほとんど見たこともない自分でしたが、プロポーション抜群で美女ぞろいのモデルさん達は圧巻でした。ファッションよりもモデルさんを眺めて楽しんでいる感じがしましたが、写真のシャッターチャンスは難しく、ほとんど良い写真は写ってませんでした。やはり、こういう場合はバカチョン・カメラはダメですね。

4. 3日目、日本人墓地参拝

ここは機会があったら行ってみたかったところで、今回実現でき本当に有意義でした。戦時に駆り出された兵隊さん、強制的に移民させられた民間人の方々は敗戦で捕虜となり、如何に苦しんで亡くなっていったか、想像するだけに悲しいです。今回参拝できほんとうに良かったと思います。

“ふるさと：うさぎ追いし...”の歌を皆んで歌った時、モンゴル人のウルジさんが涙ぐんでおられるのを見て、感銘を受けました。ウルジさん、本当にありがとうございます。またウルジさんの翻訳した言葉が日本語と一緒にプレートに刻まれており、すごい人なんだなと改めて思った次第です。

墓地での話題としては何ですが、トイレの利用で女性群が最高に盛り上がり、気合をかけてトイレに入ってゆくのはユーモラスでした。自分もつられて広い草原で立ちションをしてきました。

5. 3日目、母子家庭訪問

苦しいであろう生活の中、明るく振舞っている母子家庭の皆さんを見てちょっとホッとしました。一方で政治の貧困と格差の問題を感じました。

一日に一食と聞き切ない思いでした。

ここへ行く途中、長い長い塀に囲まれた富裕層の住居地の側を通って行ったので、余計に格差の大きさを感じました。

政府は何もやってくれないという、ウルジさんや小野寺さん・西澤さんの説明が気になったと共に、そんな中個人で支援しているウルジさん始め関係の方々に頭の下がる思いでした。我々は何ができるのでしょうか...。何をやらねばならないのでしょうか...。

それにしても、皆んなのお土産をあげた時に、代表して挨拶した女の子は何と利発そう

で可愛らしかったことでしょう。

6. 3日目、昼食時、横綱白鳳のお姉さん

昼食時のヨーロッパ料理のお店に、偶然横綱白鳳のお姉さんも食事に来て、ウルジさんの親しい知人だったため、参加メンバーにも紹介してくれ、写真も撮らせて貰いました。今白鳳に代わっているいろいろ経済活動や福祉活動をされてるとか。体も大きくスタイルも良く、かなりの美人でビックリしました。少しロシア系の血が入ってるような感じで、ヨーロッパ系の顔立ちと感じました。これは、良い方の想定外で、サプライズでした。

7. 3日目、市内観光、伝統舞踊団鑑賞

ガンダン寺での超大きな仏像と、沢山のミニ仏像が印象的でした。こんな大きな仏像をどうやって造ったのかとの疑問が残りました。次に訪れた清水大使お勧めのザナバザル美術館では、素晴らしい仏像アートの作品を鑑賞でき、この様な芸術品が残されていることに、時代背景も含め感銘を受けました。また、その後の伝統舞踊団コンサートもかなり本格的で鑑賞しがいのあるもので、上記全てエンジョイできました。。

8. 4日目、テルレジへの途中スーパーで買い物

前日訪れた母子家庭の自立プロジェクト、チャツアルガン畑に間接的ではあるが少しでもお役に立てるのではないかと、日本への土産にチャツアルガンのジャムやペースト、ジュースなど沢山買い込みました。ところが皆んな瓶詰めで結構大きく重いこと、これは失敗したと反省した時は既に遅しで、その後の運搬や帰りの飛行機へ預ける荷物のパッキング等で苦労しました。

9. 4日目、テルレジへの途中で鷹匠、ラクダ乗り

これもテルレジへの途中の道端で、鷹匠のように各種の猛禽類を腕に乗せてくれるところがあり、皆さんトライして写真に収めておりました。もちろん自分も2番目に大きい鷹を腕に乗せてみましたが、腕一本で支えるのがやっとなで、本当に重かったです。また、ここにはラクダもおり、乗せてくれるので試乗しました。ふたコブ・ラクダで非常に乗りやすく、もちろん引いてくれる人がいるので、安心して乗ることが出来ました。いずれも日本円で250円～300円程度で、驚く程の安さでした。

10. 4日目、チンギスハーン巨大像見学

これは比較的最近作られたもののようですが、ほんとに大きく迫力あるものでした。馬のうなじの展望台まで上りましたが、そこで見た景色の眺望も素晴らしかったです。チンギスハーンの大きな顔が目前に見られ、中々の迫力でした。こんな大きなものを良く作ったなとその技術にも感心しましたが、韓国の企業が作ったと聞き、ちょっとガッカリもしました。日本の企業なり法人が請け負うようにならないといけませんね。巨大像の麓に、等身大くらいの騎馬兵士像が10騎程いましたが、100万円出すと自分の顔で騎馬像を作ってくれて、そこに一緒に置いてくれるとか、即ち歴史に自分の騎馬像を残してくれるとか、どこかの国の金持ちはすぐ話に乗りそうですね。

いづれにしろ、ここはこれからの観光の目玉になることでしょう。

11. 4日目、テルレジでのモンゴル・シャーマン行事

普通ならとても来て頂けないシャーマンも、ウルジさんの顔で来て頂け、その服装、たたずまい、祈祷など非常に興味持てるものでした。自分は残念ながら時間の関係で直接診ては貰えませんでした。古代からの文化に触れた思いでした。また夜の火を焚いての祭祀（祈り）も幻想的で興味あるものでした。シャーマンの見立て（診察や手当？）が効くかどうかは、結局診てもらった本人がシャーマンを信じるかどうかの問題と思いますが、病気は気の病からと言いますから、信じる人こそ救われるということでしょう。

直接診て頂いた方に何らかの効果が現れると良いですね。残念ながら小生は、夜の祭祀の時に頂いた木の実のようなものを財布に入れてますが、まだ金運の効果は出てないようです。特に損もしてないからそれが効果と思えば良いことですが...。ウルジさんもシャーマンとか、恐れ入ってます。

12. 4日目、ゲルキャンプでの宿泊体験

ツーリストキャンプでの宿泊は、観光客用に整備された施設での宿泊で、予想外に快適なものでした。レストランはもちろんトイレや洗面所も整備されており、トイレット・ペーパー等の心配も全くなく、ちょっと拍子抜けという感じでした。日本人墓地でのあの女性群のトイレの盛り上がりは全く見られずに済みました。

快適なのは結構でしたが、日本で言えばまるでバンガロータイプのホテルに行ってるような感じで、便利過ぎて何となく味わいがないと言うか、本来のモンゴルのゲル生活を体験してはいないような感じを受けました。

同行の皆吉さんが5月に同じ所に来た時は、トイレや洗面施設は全くなく、いろいろ苦労したと話されていたので、観光客用に突貫工事で施設の整備を凶っているものと思います。

夜の、女性の航空局長を交えてのゲル内での懇談会は楽しく、そこで飲んだ ウォッカは中々美味しものでした。帰りの土産にウォッカ一本買いました。

13. 5日目、遊牧民のゲル訪問と乗馬体験

引き馬でしたが、1時間程も馬に乗ったのは初めての経験で、広い草原の中を馬で散歩でき、気持ちの良い体験でした。真瀬さんや三木さん、西澤さん等、引き馬なしで自分で乗馬でき、さぞ気持ちが良いだろうと思いました。

モンゴルの草原を馬で疾走できたら、さぞかし気持ち良いだろうと思いますが、これは夢のまた夢です。

乗馬の起点にあった遊牧民のゲルは、観光客相手に日銭を稼げるせいか比較的裕福な感じで、綺麗にしていました。ここで試食した乳製品を干して固めたような白いお菓子は、超固くて歯がたちませんでした。ところが、ウルジさん始め現地の方は、簡単に噛み砕いて食べてるようで、さすがモンゴルの方は歯が丈夫で、逞しいと思いました。

また、馬乳酒もテストしましたが、やや酸っぱい感じでアルコール度はそんなに高くない感じでした。余り美味しいとは思いませんでしたが、まずくて飲めないという程でもなかったです。

14. 5日目、ショッピング

カシミア専門店では、女房への土産に薄手のショールを1枚だけ買いました。この手の買い物は小生はとんと苦手で、何もわかりませんが、余り安いものを買うと女房にまたバカにされると思い、1万2千円程の無難な模様の

ものを購入しました。家で女房に渡したら、無地のものが欲しかったが、肌触りはすごく良いとまんざらではなさそうだったので、少しホッとしました。

皆さん、爆買い程ではないが沢山買い込んでいたので、お店の人は結構喜んでいてと思います。

次に、我々だけではとても行かないような、地元の市場に連れて行って貰い、キャビアを購入。小生は2瓶だけでしたが、皆さん沢山購入していたので、周りのお店の人や地元のお客さん達は、何が起こったのかという風に興味深く見てました。ここでもお店の人は喜んでくれたものと思います。

最後にノミンデパート中央店でチョコレートなど含め細かな土産物を沢山購入、皆さんも思い思いのお土産を沢山購入してたようです。

15. 6日目、ウランバートル空港

日本の関東地方に台風上陸で、ウランバートル空港で7時間足止め。成田から出発時には運良く台風を避けられたが、逆に帰りは運悪く捉ってしまった感じ。これは想定外で、このツアー初めてのトラブルらしきものに遭遇。

ただ、飛び立つ前だったので安全面での心配などはなく、幹事の方の機転でVIPルームのラウンジに入ることができ、比較的ゆったりと待ち時間を過ごすことが出来ました。台風の進行状況では、当日運行中止になるのではないかと、ヒヤヒヤものでしたが、今度は運良く7時間遅れで飛び立つことができました。

実は小生の預け荷物は3Kg程重量オーバーしてたのですが、ここで時間が沢山あったお蔭で、出来るだけ手荷物に移す等、いろいろ工夫しながらパッキングをやり直すことができ、最終何と22.7Kgでパス、手荷物も含めて何のクレームもなく、持ち帰ることができました。

16. 6日目、成田空港

台風の影響で、各方面からの飛行機が遅れて成田に到着、成田空港は大混雑で、リムジンバスも全部終了、今度は当日中に帰宅できるか心配でしたが、うまい具合に成田エクスプレスに乗ることができ、電車を乗り継いで夜中の1時半ごろ無事帰宅しました。

17. その他、上記以外で全般的に感じたこと

①ウランバートル市街地は車の洪水で、定常的な渋滞に悩まされているようです。これを解消するのも喫緊の課題でしょうが、それ以上にこの排気ガス及び石炭による火力発電／暖房で、近い将来都市部では中国同様大気汚染の問題が深刻化してくるだろうと思われました。この辺に日本の技術支援が役立つ時が来るだろうと思われま

②それに比べ、どなたかも質問してましたが、自転車やバイクが極端に少ないのには驚きました。夏以外は寒いので普及してないとの事ですが、中国や東南アジア始め諸外国とえらく違うのでビックリです。ここの寒さを実際に体験してませんが、それだけ寒いという事でしょう。

- ③食べ物については上記でほとんど触れてみましたが、モンゴルの料理は思った以上に美味しかったです。日本人の口に結構合うように感じました。もっとも我々が行ったレストランは皆一流レベルだろうと思いますが。
- ④モンゴルの方は皆さん(男性も女性も)体格が良く、骨格もガッチリしていると感じました。どうりで相撲も強く、日本の大相撲を席卷してしまったのも道理かも。気持ちだけではなさそうです。
- ⑤更に、モンゴルの女性は逞しい。社会進出も日本に比べ進んでいるし、良く働きタフだと感じました。また、若い女性は足も長くスタイルも良く、その上豊満さもあり、思った以上に美人が多い国だと感じました。

以上